

令和3年度 年間授業計画

都立第一商業高等学校

教科・科目	商業・ビジネス情報	単位数	3	対象学年・組	2学年A・C・D・E・F組
教科書 使用教材	「ビジネス情報」実教出版 「Excelで学ぶ全商情報処理検 定テキスト1・2級」実教出版 「情報処理検定1・2級模擬試験 問題集」実教出版	教科担任	山崎 均・井原 祐美 神藤 伊佐男・永井 文子		

1. 目標

ビジネスに必要な経済に関する知識を学習し、その知識を活用して経済社会の動向について適切に判断する力を身につける。また、サービス経済社会に適切に対応する能力と態度を育

2. 学習内容と学習上の留意点

学期	指導内容	具体的な指導目標	学習上の留意点	予定時数
1 学期	1 情報通信ネットワークの利用	・ネットワークの基礎 ・セキュリティ管理	全商情報処理検定 合格に向け、実習及 び問題演習を行う	31
	2 表計算ソフトウェアの利用	・オペレーションズリサーチの基 ・ビジネス計算		
	3 Excel関数	統計、データベース、文字列操作 ・IF関数のネスト、VLOOKUP ・関数のネスト		
2 学期	1 検定に向けての学習	・合格点を目指す	全商情報処理検定 合格に向け、実習及 び問題演習を行う	31
	2 データベースソフトウェアの活用	・ビジネス情報とデータベース ・SQLの操作		
	3 Excel関数	統計、データベース、文字列操作 ・IF関数のネスト、VLOOKUP		
	4 ビジネスと情報	・情報化社会とビジネス ・ネットワークとビジネス		
3 学期	1 ハードウェア	・コンピュータの構成	全商情報処理検定 合格に向け、実習 及 び問題演習を行う	18
	2 検定に向けての学習	・合格点を目指す		
	3 データベース操作	・Accessによるデータベースの 構築および操作		

配当時間は一応の目安であり若干の増減はある。

3. 授業を受ける上での注意

- ・演習課題の提出を義務付ける。評価の際には、内容とともに提出状況も重視する。
- ・教科書および問題集、プリントを利用する。
- ・提出物は期日を厳守し、必ず提出するよう指導する。

4. 評価の観点・方法

- ・テスト、授業の出席状況や態度・意欲及び課題等の達成状況などを総合的に判断して評価する。
- ・提出物、日ごろの授業に取り組む姿勢をもとに総合的に評価する。